

International Women's Day 2026

咲き誇るシンボル 台東・蔵前神社



穏やかな天候に恵まれた7日、蔵前神社(東京都台東区)では、国際女性デーのシンボル「ミモザ」の花が訪れた人の目を惹きつけていた。写真。

境内は、鮮やかな黄色の花を写真に収める人や御朱印を求める人であふれた。夫とともに訪れていた千代田区の会社員池田未希さん(28)は「ミモザが咲き始めてから訪れるのは今日で5回目。家でも育てているが、こんなに大きなミモザが見られる場所はない」と話し、春の訪れを感じていた。

例年10日ごろまで楽しめるという。(池田まみ)

宙の会 願い、一丸

名古屋市西区稲生町のアパートで1999年、住人の主婦高羽奈美子さん(当時32)が殺害された事件で、被害者の夫の悟さん(69)が7日、殺人罪で起訴された安福久美子被告(69)に、同市港区に對し、損害賠償を求め、名古屋地裁に提訴する方針を明らかにした。

悟さんが代表幹事を務める殺人事件被害者遺族の会「宙の会」が同日、都内で総会と会見

名古屋主婦殺害 被害者の夫 賠償求め被告提訴へ



記者会見する「宙の会」代表幹事の高羽悟さん(左)。左は会長の小林賢二さん。7日、東京都千代田区で

を開いた後、報道陣のえた。3月末ごろの相す。

事件の発生から26し、民法上では損害賠償できる20年の「時効」がある。だが悟さんは「捕らえられたいで、昨午捕されるまで相手が公訴した」と主張。宙の会に求める陳情書も出

殺人未遂・死亡ひき逃げも「時効撤廃を」

殺人事件の被害者遺族らでつくる「宙の会」は7日、東京都千代田区内で総会を開き、会として初めて殺人未遂や死亡ひき逃げ事件の公訴時効の撤廃を求める陳情書を国に提出することを決めた。

宙の会殺人事件の公訴時効

国に陳情へ

の撤廃を求めて2009年に設立。翌年に殺人事件の公訴時効は廃止されたが、殺人未遂罪は25年、死亡ひき逃げ事件など自動車運転処罰法違反(危険運転致死)罪でも20年の公訴時効は残ったままだった。陳情書では、被害者や遺族には

被害者にも寄り添ってほしい」と、この他、廃止後も、償を請求から20年請求権の確立で「被害者の権利を保障する」と訴える。

性被害防止へ 児童向け教育ビデオ

子どもは小学5年生の頃から中学卒業まで、実父から性的虐待を受けた。高校生になると閉じ込めておいた苦しさがあふれて自傷行為を繰り返す、薬物依存や援助交際、売春など、過酷な経験をした。現在は自身の過去を公表して「ほしおか十色」の名前で講演や執筆活動をしている。

講演を聞いた山口さんは衝撃を受けた。2018年からほしおかさんや、彼女を支えた支援団体職員、電話相談員、警察の少年育成指導官らに取材。映画監督の夫とともに翌年、ドキュメンタリー映画「ずっと助けてと叫んでた」を完成させた。

制作中の女性「社会全体で向き合って」

今、制作中の子ども向け教育ビデオは、優しく柔らかい言葉と絵によるアニメーションだ。教室の中には、性被害に遭っている子どももいるかもしれない。「あなたは全然悪くない、助けてくれる大人はいる、相談して大丈夫だよ」というメッセージを、全編通じて発信することを目指す。

さらに、対となる大人向けの作品に取りかかる意欲も見せる。「大人もまた、性教育を受けないまま成長してきた」と自覚しているからだ。「性とはポルノであり、性の教科書はアダル



性的虐待の被害を防ごうと、子ども向けの教育ビデオを制作している山口はるみさん＝本人提供

沖縄県米軍のUが6日夜、兵隊第1「定例の」

野球

協力金 会社役 熱海 神奈川 伊豆 金をだま 静岡県警 3、会社 天野容疑 月の静岡 土石流で 土石流を 疑いが浮 力金を巡

「逃げていい」伝えるため